



クリエーターズガーデン

版画家

中津留友子さん (26)

—福岡県筑紫野市

九産大芸術学部2年のときに始めたリトグラフ（版画の一種）。油絵、銅版画を経てたどり着いた。「銅版画より発色が鮮やかで、グラデーションも使える点が魅力です」。昨年秋からは抽象的な作品を作りはじめた。「具象は型にはめられてしまう。自分の感情を自由に表現したかった」のが理由。そのときの作品「swim～green～」には「何かから抜け出したい」という思いを込めた。

岩など自然のものの写真を写真製版で作品に取り込む。今年制作した「waterfa



気持ちを自由に表現したい

「(陽)」—写真—では、佐賀県小城市にある清水の滝を使った。気持ちが沈んだときに滝を見て心が軽くなった。それを表現した。

リトグラフの魅力は「刷り上がってみないと出来が分からないところ」という。油絵は何度も重ね塗りして修正が可能なため「終わりがない気がしてしまう」のだそうだ。

「これからも自然をモチーフにして、気持ちを表現していきたい」と語る。

6~12日に福岡市天神・新天町のギャラリー風である「ふくおか版画フェスタ2011」に2点出品する。福岡の版画家30人が参加する予定。(野津原)



ニュースで伝えられる東日本大震災の被害の大きさを見るに



お願いしよう